

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」円座校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			指導員の人数と支援スペースの数を合わせている。常により良い環境維持ができるように心掛けている。現在、同時刻最大 5 支援が行えるスペースがある。特性にあわせて環境の配慮を行う場合もある。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	2		基本人員 + 加配加算 + 専門加算がとれている。それぞれの専門性が活かせる職員の配置を行っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		3	3	お手洗い、車いすの方が来所される時にスロープが無い。事業所内は、○。出入口の段差は無くしたい。転ばないように見守りと声掛けはその度に行っている。車いすが入ることは可能。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1		管理者がしているものを指導員に下ろしている。利用者様が安心して通えるようなビジョンを持った PDCA サイクルの必要性を感じ、業務改善を図っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	2		毎年アンケートを実施している。アンケートが無くともヒヤリハット等で改善が行える仕組みを作っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			公式のブログにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	1		している。→内部監査以外に行政の監査にて業務改善すべきところがあれば真摯に受け止め改善する。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			発達支援研究所の方に月 1 回程度研修して頂いて職員全員が必ず行い、議事録を回覧し、保管。任意の事例検討会にも積極的に参加している。
適切な	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			振り返りの時に聞き取り、事業所内相談にて聞き取りを行い、計画に反映している。
支援	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1		年に一度、アセスメントシート使用。

の 提 供	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			ミーティングで話し合い、個々の指導員での情報共有を行いプログラムの立案を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2		保護者様と話し合いをして支援内容を変更している。→ミーティングにて固定化をするとしてもなぜそうするのか支援の意図や目的の確認、不自然な支援展開にならない工夫を行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	3		その時に必要な SST 課題を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			兄弟や他児等、集団支援の必要性がある利用者様には提案している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1		掲示板や朝礼で共有している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			終礼や、ミーティングで話し合いを行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			毎回の支援記録をパソコンで打ち込んでいく。次回の支援には間に合うように職員全体で心掛けている。抜けないように利用者様に応じて記録ファイルをお渡ししている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1		6 月に 1 回モニタリングを行い、必要に応じて計画の変更もする。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	2		ガイドラインをもとにした、サービス計画の中で個別支援計画を作成し行っている。変更があれば計画の修正を図り、利用者様に共有できる機会を作っている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			管理者と担当指導員の他、児に関わる相談員さんや他事業所の方との担当者会議を行っている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1		必要な児には学校連携を行っている。 また、学校連携が必要な事案が慎重に考えて相互が支え合えることができるような関係を目指している。

連携関係機関や保護者との連携	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2	2	今年から増えて、現在 病弱児が複数名通われている。医療的なケアについては保護者を通じて必要な連絡を行っている。また、病弱児と示されている療育手帳を用意してもらっている。対応の統一化は必要。
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2	2	行政に提出する園との情報共有シート、記録用紙をお渡しして情報共有を間接的にしている。対応の統一化は必要。
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	4	1	今後、地域の就労移行支援のつながりを持ち、共有をできる状態にしていきたい。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		1	外部研修に行くこともある。
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1		5	イベント等で間接的に関わることがある。
	㉕	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	3	現在は行っていないが、必要に応じて行えるような姿勢にしていく。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			フィードバックを毎回行い、出来ない時は事業所内相談や電話、記録用紙など用いて相互理解が行えるような仕組みを作っている。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	1	1	保護者様に相談を持ち掛けられた時に、児とともに支援に参加してご家庭でできる対応など話し合うことがある。
保護者への説明責任等	㉘	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1		契約時に説明している。
	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			終業時間内での支援時や事業所内相談で行っている。
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5		1	必要に応じて行っている。(両者の許可を頂いて保護者様同士の繋がりを作る機会を設けている。) 発達支援研究所の巡回相談等も活用している。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			契約時に説明しており、管理者が対応する。スピード感をもって困難な事があった時は「できない」ではなく「どうするのか」を据えた対応を行いたい。また、報告書の提出を社内で行い、再度起こらないように情報の共有を行う。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			教室掲示、一斉周知ラインや、月2回更新のブログで行っている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	5	1		契約時に説明しており、施設内で指導員も気を付けている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			その児に合わせた伝え方や保護者様のやりとりしやすい形で話している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	5	していないが、挨拶や周りの環境整備など気を付けている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			マニュアルをまとめファイリングして設置している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1		防災係の避難訓練を月に1回、対象の児と指導員で行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			社内で虐待防止の研修を行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1		契約時に説明して、同意を得ている。また、身体拘束を行った場合は、書面に記載している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	2	3	食事提供を行っていない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			ヒヤリハットを作成し、全員回覧をして周知。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」円座校 保護者等数（児童数）：41(姉弟は1として換算)

回収数：34 割合：80%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	31	3	0	もう高校生なので、ゆっくり話ができる場所はある。 広々とした施設です。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	27	6	1	どの先生も適切な対応してくださっています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	12	4	そもそも階段がないので必要ないと思いました。 困りごとがあればその都度相談させてもらって、次のプログラムから対処してもらっています。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	28	6	0	
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	26	7	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	16	13	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	34	2	1	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	29	5	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	29	4	1	いつも親身に相談にのって頂き、感謝しています。ありがとうございます。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	18	9	

	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	24	10	0	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30	4	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18	16	0	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	32	2	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	28	5	1	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	19	4	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	30	3	1	いつも楽しみに通っています。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	29	4	1	

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。